

呼吸器外科学/小児外科学

責任者：呼吸器外科学講座 齊藤 元 教授

学習方針（実習概要等）：

医師として必要な総合的臨床能力の一つとしての外科基本手技、診断、病態把握、治療法の選択、また外科診療におけるチーム医療や、適切な医療連携、コミュニケーションの重要性を理解する。

教育成果（アウトカム）：

1. 呼吸器外科学

呼吸器病に関わる治療法、特に呼吸器外科学的手法についての知識を整理する。解剖学や呼吸生理学、腫瘍学との関連を理解し、外科的手技に触れる機会を通じて呼吸器外科における治療方針の立案能力を会得し、医療のプロフェッショナルに要求されるコミュニケーションスキルの向上と協調性の重要性を認識できる。Portfolio を作製することによって自己の学修記録をまとめることを習慣づけられる。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,6,7,8）

2. 小児外科

小児外科における各疾患の診断法、周術期の患者管理に必要な基本知識を整理して、解剖学や発生学、生理学との関連を理解し、外科的手技に触れる機会を通じて小児外科における治療方針の立案能力を会得し、医療のプロフェッショナルに要求されるコミュニケーションスキルの向上と協調性の重要性を認識できる。Portfolio を作製することによって自己の学修記録をまとめることを習慣づけられる。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,6,7,8）

到達目標（SBOs）：

1. 臨床検査法・手術適応・手術方法・局所解剖を理解し、説明できる。
2. 患者のプライバシー等に配慮し、プレゼンテーションを行うことができる。
3. 医師として必要な総合的臨床能力の一つとしての、外科基本手技である糸結びができる。
4. 外科におけるチーム医療や、適切な医療連携、コミュニケーションを理解し、指導医とともに病棟回診などで実践できる。
5. 病態・治療法の適応・選択等を理解し、担当症例のレポートを作成し、これを説明することができる。

特に留意すべき注意事項：

呼吸器外科および小児外科はクリニカルクラークシップの学生が選択する（4+3 または 5+2）。

実習期間に 1 件のレポートを提出する。

1. 呼吸器外科学

- 1) 火曜日朝 8 時 15 分からの胸部腫瘍カンファランス、またはチェストカンファランスに出席する。
- 2) 水曜日朝 8 時 30 分の教授回診で症例をプレゼンテーションする。
- 3) 木曜日朝 8 時 15 分の症例カンファランスで発表する。

2. 小児外科学

- 1) 火・金曜日朝 8 時から外科のカンファランスに出席する。
- 2) 水曜日は 14 時から東 5F 又は ICU の回診に参加する。

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前に e ポートフォリオ（WebClass）「日々の振り返り 今日の目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習へ臨むこと。各実習に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお、適宜 e ポートフォリオ（WebClass）を通し個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

呼吸器外科、小児外科ともに実習初日は「オープン問題」のうちから一つを試験し、基礎学力の確認を行う。

第4・5学年臨床実習スケジュール[呼吸器外科学/小児外科学]

指導医師名：①齊藤元教授 ②出口博之講師 ③友安信講師 ④重枝弥助教

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	8:30 朝会、手術実習 [東5階カンファランス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③④	②③④	②③④	①②③④
火	8:15 (呼外) チェストカンファ又は腫瘍カンファ、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ [東5階カンファ室又は西6階放射線カンファ室、手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③④	②③④	②③④	①②③④
水	8:30 朝会、病棟入院症例カンファランス、授回診 [東5階カンファランス室、病棟]	ベッドサイド実習	手術症例検討会	手術症例検討会
[場所]		[病棟]	[東5階カンファランス室]	[東5階カンファランス室]
[指導医]	①②③④	②③④	②③④	①②③④
木	8:15 (呼外) 術前症例カンファランス、手術実習 [東5階カンファランス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③④	②③④	②③④	①②③④
金	8:30 朝会、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ [東5階カンファランス室、 手術室]	手術実習	口頭試問, レポート提出	口頭試問, レポート提出
[場所]		[手術室]	[東5階カンファランス室または 教授室]	[東5階カンファランス室または 教授室]
[指導医]	①②③④	②③④	①	①

※小児外科学のスケジュールは外科学のスケジュールに準じる。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
手術用機械	胸腔鏡ビデオシステム	1台	胸腔鏡手術に用いる。
手術用機械	気管支ファイバースコープ	1台	術中・術後管理時に気管支内の病変の観察を行う。
手術用機械	パルスオキシメータ	1台	術中・術後管理時または外来診察時に経皮的酸素飽和度を測定
手術用機械	ワーナーフレーム (YNP-2546)	1台	臨床実習手術見学
手術用機械	超音波手術システムソノサージ (s-t) 本体 (SONOSURG-G2-SP)	1台	臨床実習手術見学
手術用機械	VISER 腹腔・胸腔ビデオスコープ (LTETVPE VP)	1台	臨床実習手術見学
診断用機械	インファントウォーマー	1台	新生児、乳児の集中監視装置として使用。
診断用機械	腹部エコー装置	1台	腹部疾患の診断およびエコーガイド下穿刺に用いる。
診断用機械	人工呼吸器	1台	呼吸管理に用いる。
診断用機械	硬性気管支鏡	1台	気管内異物摘出の際に用いる。
実習用機械	気管支鏡セット一式 (K10020ATA)	1台	臨床実習における手術見学の際に使用する。
視聴覚用機械	シャウカステン	1台	胸部 X 線写真、CT、MRI の読影に用いる。
視聴覚用機械	HDD ビデオレコーダー (RD-X4)	1台	臨床実習における手術見学の際に使用する。
視聴覚用機械	プロジェクター (U4-U-237)	1台	臨床実習セミナー
その他	ノートパソコン (VAIOVGN-FS50B)	1台	臨床実習用資料作成
その他	シュレッター (V231S)	1台	講義・臨床実習にける個人情報管理
視聴覚用機械	パソコン (S T110)	一式	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (VGN-SZ94PS)	1台	臨床実習における症例検討

教科書・参考書等：

- ・「呼吸器外科学」，監修正岡昭，編集 藤井義敬，南山堂。
(呼吸器外科全般にわたる知識の参考であり，必須ではない)

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：20 点
3. 技能：10 点
4. 問題解決能力：15 点
5. 技能試験：10 点
6. 指導医評価：10 点
7. ポートフォリオ：20 点